



館報 まつかわ

松川町公民館報
第709号
令和4年12月15日

11月11日、中央公民館えみりあにて
パープルライトアップの点灯式が行
われました。



松川町

第37回

駅伝大会

11月6日(日) 開催



福与 中の村チーム
ゼッケン5

北原産業チーム
ゼッケン4



・・・ ゴール時の気持ち一文字と一言をうかがいました ・・・

1区 米山 祐貴さん 「惜」

とにかく惜しかった。でも、スタートの時楽しく走ろうと思い、楽しく走れた。

2区 森本 慎一さん 「疲」

思った通り上位でたすきを受けとり、責任を感じた。走りきらねばと思い、なんとかつなげて良かった。

3区 米山 末巳さん 「恵」

天気恵まれ、運動できる環境に恵まれ仲間に恵まれた。そんなことを実感して走った。

4区 久保田 拡さん 「安」

疲れた。天気がよく、青空・風が走っていて気持ちよかった。

5区 北林 真一さん 「怒」

疲れた！来年の光雄さんの走りに期待します！

1区 上沼 将臣さん 「苦」

キツかった。無事に走れてよかった。

2区 北林 斗志希さん 「疲」

やっと終わった！

3区 畑中 裕二さん 「爽」

気持ちが楽になった。すがすがしい。

4区 林 益巳さん 「清」

すがすがしい。橋を通ったのですが、景色がよかった。

5区 丸山 清勝さん 「辛」

頑張って走りきりました！

皆さんすっきりした表情をされていました。まだゼーゼーと息の荒い中、インタビューにこたえてくれた方もいました。

ありがとうございました。

多くのスタッフの皆さんに支えられて

駅伝大会は多くの人に支えられて実施されています。

コースの安全確保のための交通整理に、松川町交番、交通安全指導員、交通安全協会、地区公民館、ボランティアの皆さん総勢80名を超える皆さんに携わっていただきました。ありがとうございました。

第2中継所主任

北澤 晃也さん

参加されたきつかけ

スポーツ推進委員の方から頼まれて。

感想・思い

みんな一生懸命走ってくれて良かった。

参加チームが少なくなってきた寂しい。

体育部

今村 剛弘さん

前回はコロナの影響で係員を減らして運営できる周回コースでしたが、今回、新しく開通となった新宮ヶ瀬橋を含む町内を走るコースを選定しました。



これからの協力できることがあれば町を盛り上げていきたい！

社会部

北原泰一郎さん
担当 計時

今年から社会部に入りましてので少しでも町のために何か貢献できればと思います。

初めて裏方として参加し皆さんの協力の凄さと選手を見る側としては初めて頑張りや伝わってきた町を盛り上げてると体で感じました。



優勝チーム 松陸OBの皆さん

第37回 松川町駅伝大会結果

総合優勝	松陸OB 1時間01分56秒
------	-------------------

【部門別入賞チーム】

部門別	優勝	準優勝	第3位
一般男子	松陸Mix 1時間03分49秒	松陸おやじ〜ず 1時間10分13秒	ランニングショーヤンズ① 1時間10分32秒
高校生男子	松陸OB 1時間01分56秒		
中学生男子	松中サッカー一部 1時間16分37秒		
小学生男子	松陸ジュニア 1時間14分10秒	松川JSC 1時間22分19秒	
小学生女子	松陸レディ 1時間20分23秒		

【個人区間優勝者】

部門	区間	1区	2区	3区	4区	5区
		3.2km	4.1km	3.1km	3.7km	2.8km
一般男子	氏名	米山 祐貴	筒井 陽	今関 眞吾	松下 巧臣	原 武司
	チーム名	福与 中の村	松陸Mix	松陸おやじ〜ず	松陸Mix	松陸Mix
	タイム	13分34秒	13分53秒	11分42秒	12分57秒	09分58秒
高 校 生 子	氏名	山田 隼輔	福島 圭亮	藤本 憲伸	宮内 達矢	羽生 大起
	チーム名	松陸OB	松陸OB	松陸OB	松陸OB	松陸OB
	タイム	12分37秒	14分35秒	11分34秒	12分33秒	10分37秒
中 学 生 子	氏名	西尾 優希	菅沼祥二郎	河野 大空	氣賀澤大瑚	秋廣 樹季
	チーム名	松中サッカー一部	松中サッカー一部	松中サッカー一部	松中サッカー一部	松中サッカー一部
	タイム	17分22秒	15分41秒	12分48秒	17分08秒	13分38秒
小 学 生 子	氏名	水間 心汰	鳥海 宏陽	大野 泰芽	佐藤 辰昭	古沢 瑛翼
	チーム名	松陸ジュニア	松陸ジュニア	松陸ジュニア	松陸ジュニア	松陸ジュニア
	タイム	15分51秒	15分08秒	13分37秒	16分32秒	13分02秒
小 学 生 子	氏名	大久保 咲希	杉本 日咲	木下 玲奈	水間 心花	中平 虹来
	チーム名	松陸レディ	松陸レディ	松陸レディ	松陸レディ	松陸レディ
	タイム	19分42秒	18分10秒	13分44秒	15分17秒	13分30秒

第27回

松川町文化祭

第27回、松川町文化祭が10月28日(30日の3日間、町、教育委員会、公民館、(株)チャンネル・ユーのご後援を頂き、3年ぶりに開催されました。展示会場は、えみりあ全館、演芸は観客との距離確保のために少し離れた町民体育館トレーニングルームとしました。

開会式は、初日午前10時より委員長挨拶、ご来賓の宮下町長、山崎公民館長からご祝辞を頂き、副会長の開会宣言でスタートしました。出展者、演芸出場者は、会員9団体・一般18団体・会員個人5名・一般個人11名で総出展数444点、演芸出演81名となりました。コロナの影響もあり心配されましたが、予想を凌ぐ盛会となりました。

来館者は、3日間で町民や他市町村から千数百人となり、同時にアンケートをお願いし324名の方から提出頂きました。また、メッセージ欄には、感想、温かな励まし、次回への希望や提言も数多く頂きました。以下、一部ですが紹介させて頂きます。

●僕のがあってうれしかった。
●新幹線が身近に見れたみたいになかった。

●習字と絵が綺麗でした。
●とても素晴らしい展示物がいっぱいありとても楽しかった。次は演芸も鑑賞したい。

●様々な作品を見て良かったです。文化祭いいですね。思いがけず子の作品に出会えて嬉しかったです。

●やはり芸術は素晴らしいです。開催してくださりありがとうございました。

●今年は開催されて良かったです。素晴らしい作品ばかりで目でもしっか

り楽しめました。コロナ禍で外出機会がない中、出展をされた皆さんありがとうございました。

●町体は冷え冷えしているが、えみりあで良かった。えみりあはとてもきれい。

●町体の方が見やすい。広くて良い。小中学校の展示をもっと増やして欲しい。

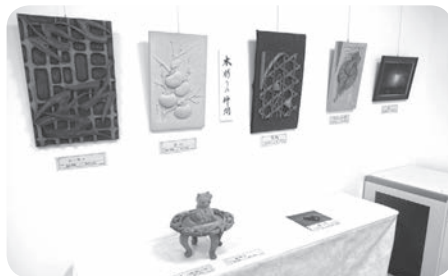
●お年寄りの足を考えて町のシャトルバスがあればと思います。

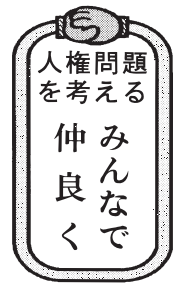
●展示地図などの案内に工夫が欲しい。皆様の活動成果を拝見し、元気が出ました。来年の開催を楽しみにしています。

●毎年この時期が来ると今年はどうな作品が出展されるのかと楽しみにしています。より多くの人が日頃の成果を発表する場として今後も長く続く事を願っております。

これらの貴重な思いを参考にさせて頂き、更に皆様に喜んでもらえるよりよい文化祭を目指していきたいと思えます。皆様のご協力、大変ありがとうございました。

(松川町文化協会 田村健一)





松川中学校

人権講演会より

11月11日

◆講師 猪又 竜さん 井出今日我さん

◆テーマ 『多様性と助け合いの社会を知ろう』

◆内容 見た目でわからない障がいをもつ猪又さん(先天性心疾患)と、見た目でわかる障がいをもつ井出さん(筋ジストロフィー)のお二人で講演をしてくださいました。講演では多様性の話を通して、人々は能力が違い、得意な事・不得意な事、できない事・できる事がある事に気づくことができ、それらを補って助けあいながら生きていくことの大切さを伝えていただきました。また、「自分は自分のままで良い」という自己肯定感を高めていけるような話もあり、人権について考えを深めるよい機会となりました。

講演を聞いて考えたことや印象に残ったこと

*この世の中は、パズルの出ているように、人それぞれ得意なところ、苦手なことがあること、苦手なことがある

り、それを補っていくことで世界が成り立っているということが分かりました。私は今までいろいろな人に助けてもらって、「迷惑かな?」と思うことがあったけれど今日の講演会で頼ることも大切なことが分かった。時は友達とかに頼りたいなと思いました。

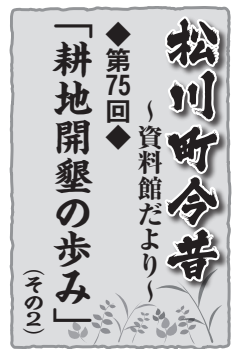
*「自立」とは自分でなくてもできるということではなく、誰かに助けを求められることという言葉が、特に印象に残った。

*私たちのかけ言葉がその人を傷つけてしまったり、気を遣わせてしまうんだと分かった。何気ない言葉にも気を付けたいと思いました。

*自分にできないことがあっても、別に恥ずかしいことじゃないんだと思えた。自分が自分らしくいて良いんだと、改めて思った。

*障がいを持っていて自分とは違う特徴がある人とは違う特徴がある人ではない、尊重しあい協力し合うことが大切だと思えた。

*体に障がいがある人でも普段の生活を楽しんでいるように見えるので、その人だけ特別に接するのではなく普通に接することが相手のためになると思えました。(次号につづく)



昭和初期に大島村に耕地整理組合がたくさん成立しました。前回紹介しました大島耕地整理組合が一番早く、昭和3年(1928)設立されました。その後大恐慌が明らかになつてきた昭和5年から多くの耕地整理組合ができ、開墾を始めました。昭和7年に国のほうから、恐慌による市町村の経済状況の不振を改善するために、経済更生の運動を進めるようにという指令が出ました。昭和7年7月県からの指示に従って、下伊那も町村が集まりました。そこで経済改善の方法などについて話し合いました。その後町村ではいろいろな取組がありました。

大島村ではすでに取組んでいた開墾が着実に進められました。始めた頃は多くの開墾地を果樹園にすべてす



耕地整理組合開墾地域

写真中の組合	写真外の組合
大島耕地整理組合 昭和3年～	中原耕地整理組合 昭和6年～
下原耕地整理組合 昭和5年～	前平耕地整理組合 昭和6年～
藪原耕地整理組合 昭和5年～	堤原耕地整理組合 昭和7年～
御嶽原耕地整理組合 昭和7年～	城ノ下耕地整理組合 昭和7年～
古林耕地整理組合 昭和11年～	南方耕地整理組合 昭和7年～
引込林耕地整理組合 ?	大岩倉耕地整理組合 昭和7年～

る計画ではありませんでした。開墾以前の中心的な産業であった養蚕を改善していく方向も考えられていました。昭和初期の最初のほうに開墾に取りかかった耕地整理組合は、左の写真にのっている所で、城山の上の所に並んでいます。写真ののっていない耕地整理組合は、城山の下の平にある耕地整理組合もあります。これらの土地の多くは、名子の一段上の城山あたりから、上の県道の間で、原

果樹栽培地の開墾割合

組合名	開墾総面積	果樹栽培地	%
大島	11町	10町4反1畝	94.6
中原	7町5反9畝	6町6反4畝	87.4
藪原	8町3反	3町7反3畝	44.9
御嶽原	5町6反	4町7反	83.9
引込林	2町7反	1町7反	62.9
城ノ下	5町5反7畝	5町1反	91.5
古林	14町1反	8町6反3畝	61.2

野や山林のところでした。経済更生運動に大島村が取組む頃になって、果樹栽培へ力を入れ開墾が進みました。右の表の組合の多くは、開墾面積の多くが果樹栽培地になったことがわかります。表の組合とその他の組合を合わせ、開墾地は54町歩余となり、そのうち果樹栽培地は41町歩となりました。これが「くだもの里松川」成立となるもととなりました。昭和初期には二十世紀ナシがとれ、東京へ出荷されました。(続く)

松川町資料館 伊坪 達郎

多くのメディアに 松川町が取り上げられました!



サッカーワールドカップ、日本対コスタリカ戦が実現したことにより、コスタリカと交流のある松川町に多くの取材が訪れました。取材には多数の町民の皆様に関わって頂き、出演して頂きました。



(大阪朝日放送 取材)



(関西テレビ 取材)

【テレビ】

- 大阪朝日放送 「ペコぱのまるスポ」
- 関西テレビ 「報道ランナー」
- テレビ朝日 「グッドモーニング」
- TBS 「ひるおび！」
- TBS 「サンデージャパン」
- TBS 「ニュースキャスター」
- フジテレビ 「日曜報道・ザ・プライム」

【新聞】

- スポーツニッポン新聞
- 日刊スポーツ

※番組・紙面の構成上カットされている可能性あり。

11月27日には、中央公民館で試合をテレビ観戦し、日本とコスタリカ両国の応援を行いました。試合開始前とハーフタイムには在日コスタリカ大使のサラス氏とオンラインで交流、「お互い良い試合が来ると良いね！」など互いに激励しました。



コスタリカとの交流を担当する生涯学習課は、今後も松川町とコスタリカの交流を続けていきたいと話しました。

ちょっとひとこと

先日、男女共同参画セミナーとして開催された講演「災害時のトイレは命にかかわる～地域防災に女性の視点を～」(講師 加藤 篤)を役場職員・女団連の皆様と視聴しました。

皆さんは1日にトイレをどれだけ利用しますか。最近のトイレは清潔で便利ですが、電気・水道が止まったら使えないと思っていた方がよさそうです。

私は、最低1日5回、起きている時間÷5回=3時間に一度はトイレのお世話になってます。

水や食料は我慢できてもトイレは待たなし、災害時、便器の数はあっても、利用できないトイレばかりになってしまうことがある。いまさらながら納得。

生涯学習課長 高根 竜二



スポーツ

第22回 少年野球中川交流大会

11月13日 (日)



優勝! 松川学童野球クラブ

1回戦

松川学童野球クラブ 6 - 0 駒ヶ根ダイヤモンドフェニックス

2回戦

松川学童野球クラブ 5 - 0 JBC伊那スポーツ少年団

決勝

松川学童野球クラブ 3 - 2 竜丘少年野球教室



一緒に公民館報を作ませんか?

中央公民館では、本紙“公民館報まつかわ”と一緒に作ってくれる仲間を募集します!

年齢性別問いません! 知識、経験、スキル不要!

文章を書くのが好き、絵を書くことやデザインするのが好き、人と話すのが好き、この町が好き、どんな方でも大歓迎! 会社員、自営業、主婦さまさまざまな町民の方が活躍しています。一緒に楽しく館報作りませんか?

お問い合わせ・松川町中央公民館 ☎36-2622



今後の活躍に注目

(上新井) 岩村拓生さん



した。

他にも全日本遠的選手権大会では3位、北信越選手権大会では団体、個人とも優勝という輝かしい成績を収められています。家族みなさんが弓を引いていたことに影響され、高校から弓道を始め、今では五段の腕前。

国体弓道の県代表に選ばれ、7月に行われた北信越大会に出場した岩村拓生さん。「選ばれた時は嬉しかったが自分で務まるか不安にもなった。大会では今までにないくらい緊張した。結果的に北信越で終わってが出場できたことは自信になった。」と感想を話してくれま

聞きすると「うまくなくなってきて、次の課題が出てきてそれをこなしていくのが楽しみだった。道具選びも楽しみの一つ。大きな大会では的に当て続けなければならなかったり引いている姿も結果につながる大会もあり、自分が良いと思っててもそう

はいかないこともある。」と話してくれました。

「今年行けなかった国体、来年も選手に選ばれて本大会に出場できるように。他にも全国大会に挑戦していきたい。弓道は生涯スポーツなので続けられる限り続けていきたい。」と今後の抱負を語ってくれました。ドライブも好きだそうです。弓道一筋の岩村さん。今後のますますの活躍が期待されます。



すぽっと

男女共同参画講座

「これからの男の子たちへ
社会から性差別をなくすために」

11月11日(金)、内閣府主唱の

女性に対する暴力をなくす運動に合せて、長野県男女共同参画センター主催で令和4年度女性に対する暴力防止セミナー「これからの男の子たちへ」社会から性差別をなくすために(講師：太田啓子さん)が開催されました。

松川町では、中央公民館を会場にWeb視聴の形で行われま

した。

太田さんご自身の弁護士業務や二人の男の子の子育て経験をもちにしたお話や、様々なデータを引用しながら現在のジェンダーギャップについての指摘がありました。

特に言及されていたのが①「男らしさの」の呪いから自由に生きてほしい②性差別構造の中で男性というマジョリティと

しての特権を持っていることを自覚し、積極的に抗ってほしいということでした。

合わせて、被害者ではなく加害者を生まない教育が必要だということも強調されており、小さいときから伝えていくことの重要性を説いていました。

私たちは今、多様性を尊重し共生社会を目指す時代に生きています。そのためには、相手の側に立ち、様々な視点で考えることが重要です。今回のお話は、男女の問題に限らず、そんな現代を生きていくうえで大切なお話を聞いた時間となりました。



松川中央小学校

4年社会見学感想より

一番印象にのこったのは石井みぞです。石井みぞの職員さんが話していたこともきょうみぶがいてすが、3年みぞはもつときょうみぶがかったです。お話が終わったら、みぞ汁を飲みました。とてもおいしかったです。もつとのみぶがかったけど、がまんして続きの松本城を楽しみました。帰りに、石井みぞのおみやげをもらって、とてもうれしかったです。

一番楽しかったのが、松本城でした。なんと松本城は、高さが29mもあります。ほくは、中に入る時がらつづつ、わくわくしていました。中に入るとした時、友達「がいだんがめつちや急だよ！」

と教えてくれました。そしてほくは「えっ！そんなに急なの！」と思いましたがなんと60度くらい急な坂でした。そしてどんどん上っていくと、どんどん急な坂になっていきました。と中すべってこけそうないだんもありました。でも最後まで上りきつたらすこい景色が見えました。すこい社会見学になりました。本当に最高でした！

中でも一番よかったのは、大王わさび農場です。わさびの生産量が全国1位なところがすこいと思います。おやつにわさびソフトクリームを食べました。先生にわさびがおすすめと云われてわさびにしてみただけど、口に合わなくてなんだかたまされた気分になりました。味はちよつとからくてわさびの味がすこいでした。次にソフトクリームを食べるときは、ぶつろのパラにしようと思います。

俳句

雪 螢 鋤柄 郁夫(宮坂)

終活はもうできたのか冬の蜂

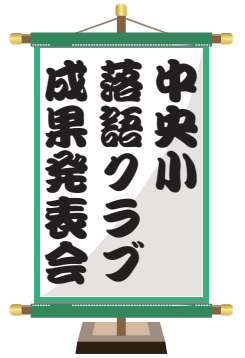
寒蟬や老師説くりベラルの行方

雪螢ふわりふわりと以呂波歌

露の世を俯瞰している寒鴉

黒き猫大あくびして年暮るる





11月26日に中央小の落語クラブで学んだ二人の成果発表がえみりあで行われました。中央小落語クラブは笑緑亭(高坂敏昭)さんが講師となり6名のクラブ員が、自分で演目を決め頑張って練習をしてきました。クラブ最終日にはクラブ員の中で発表が行われましたが、人前で成果を披露したいと思いがあつた笑緑亭(高坂敏昭)さん、笑緑亭心団寿(佐藤心美)さん二人



人のチャレンジによる家族を招いての成果発表でした。団寿さんは「道具屋」の8分余りの演目を見事に披露してくれました。見に来られた家族からは「孫がこんなことをやっていったんだ知らなんだ」「子どもの成長を感じた」など笑顔で話されました。演じた二人からは「演目の内容はすぐに覚えられた、落語クラブに入って良かった」「覚えるのが苦手だったが落語を通じて覚える力がついた気がする」と話してくれました。落語を通じ成長した姿を見せてくれました。とても温かみを感じさせていただいた発表会でした。

**中央公民館えみりあ
パープル
ライトアップ**



パープルリボン作り

パープルライトアップは、男女共同参画社会を目指す取り組みの一環で「女性に対する暴力をなくす運動」として全国各地で毎年11月12日から11月25日まで行われています。松川町でライトアップは初めての試みとなります。点灯式には子どもから大人まで約40人が訪れました。会場ではシンボルマークである、パープルリボンが配布されました。式典が始まり、取り組みの説明や思いが述べられた後、カウントダウンが始まりました。式典に駆け付け



パープルリボン

た全員でカウントダウンが行われるとえみりあ全体がパープル色に包まれました。主催者の女性団体連絡会、寺澤さんからは、「パープルライトは頑張ろうと応援してくれる光。こどもから高齢の方、みんなにライトアップを見て頑張ろうという気持ちになってほしい。」と、パープルライトに寄せる思いを聞かせていただきました。また、式典に訪れた小学生からは、「きれいだった。特別に紫色になっていて特別な日に感じた。ずっとやってほしい。」などと感想を聞かせていただきました。パープルライトは、えみりあだけでなく、訪れた人も和やかな雰囲気包んでくれました。

お昼の章

「お昼にラーメンを食べに行かない？」と小学6年の息子に声を掛け、半ば強引に連れ出す。向かった先はラーメン屋さんではなく職場関係のイベント会場。設営からイベントの手伝い等周りの大人たちに溶け込んで率先して動いてくれる。自分が息子の立場だったら、なんで休日にこんな事をとブツブツ言ってしまうものだが、内心息子も思っているのかもしれない。ただ、普段は接しない大人と関わることで培う気遣いがあるのだと最近の息子の行動を見て思う。親子間の縦の関係と友達との横の関係に世代間を超えたこういう斜めの関係が息子の成長の一助になっているのだと実感する今日この頃。実は親のために、ラーメンにつられて出かける子どもらしさを演じてくれているのかもしれないが、1日1日成長していく子どもと、美味しいラーメンを食べられる日がずっと続けば良いと思う。

大東 洋文

公民館報
「まっかわ」
第 709 号
令和 4 年12月15日
発行所 松川町公民館
責任者 山崎 隆
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷株式会社